

自然に
暮らす

遊んで、
学んで、
楽しんで!

設置店募集!

Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2017

秋

VOL.

18

巡る星を地図に

ハワイの伝統航海術

Nature Game "申請中"

夜空にきらめく〈わたしの星座さがし〉

Nature Game No.009

みい一つけた! 〈カモフラージュ〉

Nature Game No.048

私の好きな山は... 〈はじめまして〉

<http://www.naturegame.or.jp/>

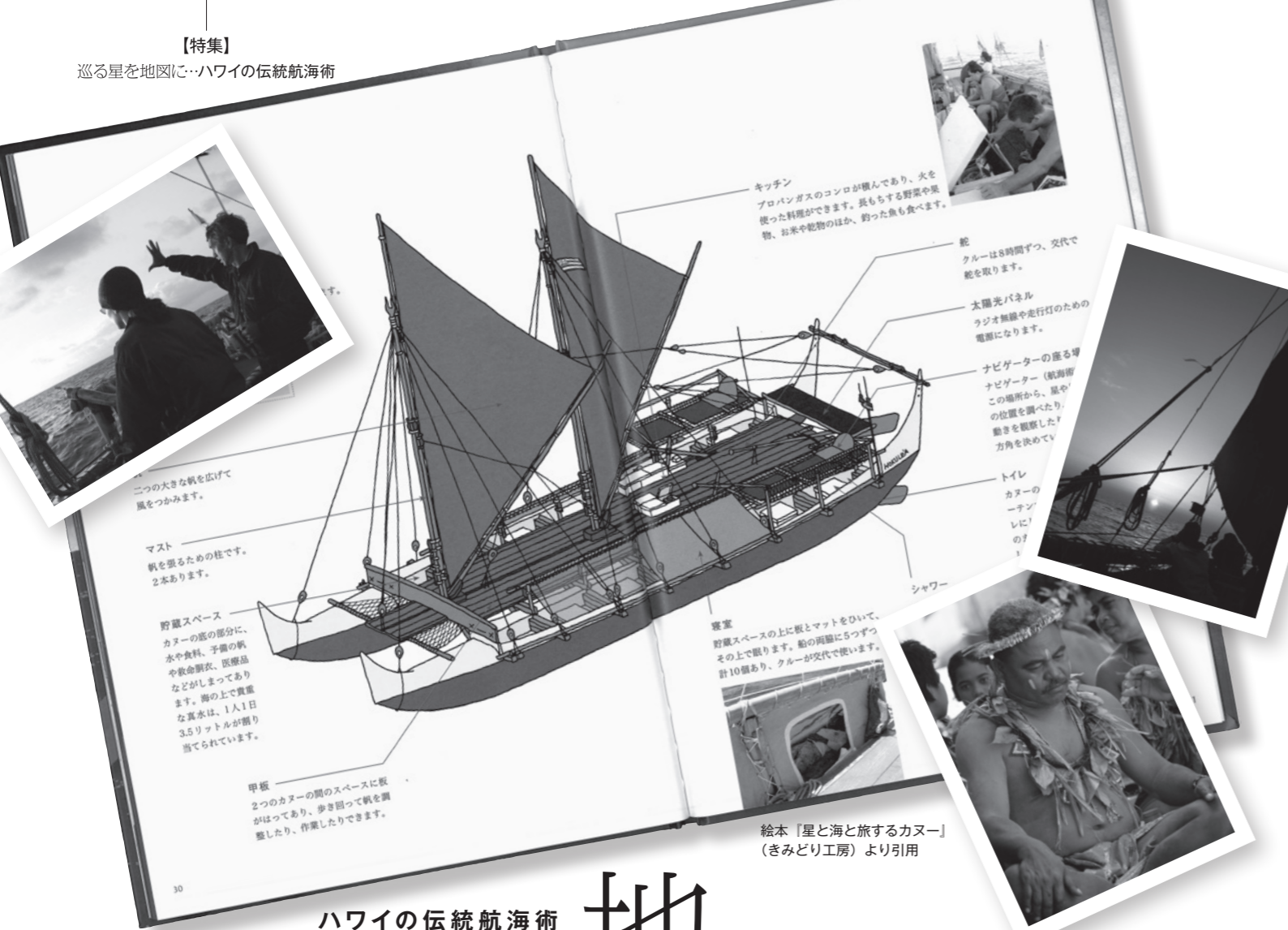
通巻
もうすぐ 100号

いま
99号
あと
1号



自然に寄りそう 未来につなぐ
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会

スポーツビル
BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています



絵本『星と海と旅するカヌー』
(きみどり工房)より引用

ハワイの伝統航海術

地球は一艘の カヌー

丸太をくりぬいたカヌーで
海図もコンパスなどの近代計器もいっさい使わず
星や太陽、風や波などの自然を読み大海原を自由に行き来していた
ハワイの、ポリネシアの、伝統航海術。
復元された双胴型伝統航海カヌー「ホクレア号」が
その技法で、世界一周を成し遂げました。

ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ、ブラジル、ニューヨーク、パナマ、イースター島…そしてハワイへ。2017年6月17日オアフ島。海岸には、世界一周の大航海を達成して帰航する一艘の遠洋航海カヌーを出迎える大勢の人の姿がありました。カヌーの名は「ホクレア号」。ハワイの言葉で「幸せの星」を意味するその船は、海図もコンパスなどの近代計器もいっさい使わず、星や波などの自然を読んで航海を続けた、ポリネシアに伝わる伝統航海術で、世界一周を成し遂げたのです。「海岸に集まった人の数は、州政府の発表で2〜3万人。正直驚きでした。浜辺ではハワイの伝統的なチャント(祝詞)



星と海のナビゲーター
【「海の学校」主宰】
内野加奈子さん

ハワイ大学(海洋学)留学中、
ハワイの伝統航海カヌー「ホクレア号」の活動に関わり、
2007年の日本航海に日本人初のクルーとして参加。
現、NPO法人「土佐山アカデミー」理事、海の学校主宰。

取材・文/伊東久枝
写真/内野加奈子
掲載協力/きみどり工房
イラスト/井上みさお(p.4~5)
初澤久美(p.6)

自然をまるかじり

No.17

落ち葉をキャッチ



風に吹かれる落ち葉を
眺めて、深呼吸。

右に左に上に下に
くるくる舞いながら
着地しようとする落ち葉と
自分の“気持ち”を
ピッタリと合わせて…

落ち葉が地面に着く前に
手でキャッチ!

…できると
なんだか嬉しい気持ちになる。

葉っぱと自分の不思議な、一体感。
秋ならではの、自然あそび。

ネイチャーゲーム〈落ち葉キャッチ〉

ネイチャーゲームをはじめとする『シェアリングネイチャー』それは、人が自然を尊重し、共生していく社会のキーワード。公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は「自然と遊び、自然から学ぶよる」こびにあふれた生活をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

Sharing SN Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

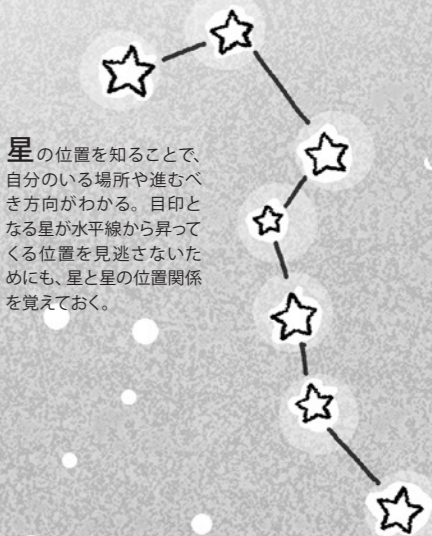
2017 9月号 秋 VOL. 18

contents

特集 ●巡る星を地図に	3
イベントレポート	7
被災地復興支援情報	7
News	7
Dr.日置「ことば」×「科学」 ●発見【はっけん】	8
ネイチャーゲームで体験しよう!〈カモフラージュ〉	8
SNLな仲間たち ●中国…林 紅 さん	10
プレゼント	10
ジョセフ・コーネルの課外授業	11
四角友里 ●なんにもしないアウトドア	12

編集後記

次号はついに、通巻100号!!! 1993年に発行した第1号から『ネイチャーゲーム通信』『ネイチャーゲーム』『ネイチャーゲームの森』『シェアリングネイチャーライフ』と名前を変えながらも、今まで途切れることなく情報を届けてきました。100号はどのような発信をしようかと…ただ今楽しい企画を検討中。読者の皆さまの“心に響く”メッセージが届けられるように、頑張ります。(ささき)



星の位置を知ること、自分のいる場所や進むべき方向がわかる。目印となる星が水平線から昇ってくる位置を見逃さないためにも、星と星の位置関係を覚えておく。

星座を繋ぎ合わせて
星空を1枚の絵のように見る。
自分がどこにいるかが分かる。



月が見える間は、月の形と位置で方向を知ることができ、昼間も天空に浮かび、行く先を静かに照らしてくれる月は、航海の重要な目印となる。



る、伝統航海術なのです。

過去から未来へ 舵をきる

ハワイータヒチ間の航海を終えたホクレア号は、その後、ポリネシアの島じまをめぐる、各地の先住民に誇りと文化を取り戻すきっかけを与えています。

その役割に一区切りがついた2007年、ポリネシア文化圏を抜けだし、ハワイと深いつながりのある日本への航海を行います。今や、ハワイの人口の2割をしめ、経済的にも文化としてもハワイに根付いている日系人の故郷。

日本航海では、沖縄、長崎、広島、愛媛、横浜：などに寄港し、各地で日本の海洋伝統文化が披露され、それは寄港地の伝統文化の見直しにもつながりました。そして、この航海を内野さんは「ホクレア号にとっても挑戦だった」といいます。古代の人びとが行き来をしていた海域から外に出た、大きな一歩だったのだと…。

「民族の誇りと文化を取り戻す」という目的から生まれた『ホクレア号』は、「未来の子どもたちに我われは何を残すのか」という問いかけをする存在として、ポリネシア文化圏から踏み出しました。そしてそれは、2014年からはじまった世界一周の旅へとつながるきつかけともなります。

が歌われ歓声が響き、多くの人がその偉業を讃えていました」

そう話すのは2007年、ホクレア号が日本に就航したときのクルー、内野加奈子さん。ハワイで『星の航海士』と呼ばれる伝統航海術を学んだひとりです。

でもいったい何人の人が、今から40年前、『ホクレア号』を復元したそのとき、この海岸の光景を想像したでしょうか。

失われかけた 民族の誇りと文化

ハワイに人類が渡ってきたのは、約1300年前。以後ハワイでは独自の文化が築かれてきました。しかし、1770年代後半に押し寄せた西洋文明の波とそれに続くアメリカ合衆国併合により、ハワイの伝統文化は表舞台から姿を消します。ハワイ語は教育の場から排除され、フラを踊ることも伝統的な儀式も禁じられ…。そのようななかハワイの先住民の人たちは、民族への、自分自身への誇りを失っていきました。

現在、『星の航海士』の第一人者といわれ、内野さんがクルーを務めたホクレア号日本航海のナビゲーターを務めたナイノア・トンブソン氏は、その著書『ホクレア号が行く』（ブロンズ新社）で次のように語っています。

「幼稚園から高校までの13年間の教育の中で、ネイティブハワイアの歴史につ

いて学ぶ授業はわずか1学期の半分だけ。(中略)：ハワイ人はいつどこから来た民族なのか、私はいったい何者なのかを教えないということは、知る必要がないということ。つまり、知る程の価値がないということになります」と。

こうしてハワイでは伝統文化の継承は途絶え、いつしか先住民は「偶然島に漂着した…」とされていきました。

星が教える位置 空が伝える時間

ハワイとニュージーランド、イースター島を結ぶ、太平洋上の三角形。ポリネシアントライアングルと呼ばれる約25万平方キロメートルにもおよぶ海域を、すでに1500年も前に遠洋航海用のカヌーを建造し、海図もコンパスもなしに自由に行き来していた人びとがいました。それが「漂着の民」とされることは、先祖の知恵や、文化、誇りが、消滅させられようとしていることに他なりません。

このことに危機感を感じ、伝統遠洋航海カヌーを復元し、当時から伝わる伝統航海術で祖先が渡ってきたタヒチへ航海をしようという試みが始まります。それは、当初、ハワイ先住民族のためのものでした。

多難を極めたこの試みは、1976年ミクロネシアの小さな島で継承されていた伝統航海術継承者、マウ・ピアイグル

夜がきて、また朝がきて。
毎日、毎日、ちがう海、
毎日、毎日、ちがう空。
一度だつて同じじゃない。

水鳥のなかでも、夜は陸地に帰って休む鳥は、航海士に島の方向を伝えてくれる。朝彼らがやってくる方向、夕方帰る方向に、島はある。

太陽の昇る位置と沈む位置は、海の上では大切な位置情報。太陽の昇るときに波の来る方向を覚え、昼間の指針とする。そして、太陽は1日の時間も教えてくれる。



コーネルさんの「空と大地が私に触れた」に書かれている。エクササイズ。をしてみたいと思っていました。この体験会があることを知り、さっそく地域の会の仲間を誘って参加しました。

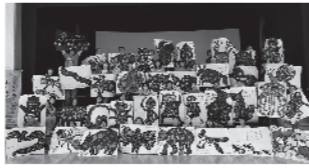
エクササイズを通して自分の呼吸を見つめ直し、感覚に意識を向けることで心が安らいできて、しみじみと自然との一体感を味わうことができました。真夏日でしたが、木陰を抜ける風が爽やかで、セミの声が心地よく感じ、素敵なひとときでした。



**シアリングネイチャー
エクササイズ体験会**
2017/7/22 新井利佳 神奈川県



カッコーの声で目覚め、冷たい空気に身を引き締めて参加いただいた3日間。川尻秀樹さんの基調講演「日本人を育んだ森の思想」をはじめ、見て聞いて感じて「飛騨の自然と暮らし」をテーマに練りあげたプログラムは、飛騨の自然と参加者に仕上げられ、充実した内容となりました。「壮観でした」とは、報告会を見た絵本作家、村上康成氏の言葉。今は、今回行った試みが今後の研究大会にとつながるか、それが楽しみです。



絵本作家を感心させた、ワークショップの作品

**第27回全国ネイチャー
ゲーム研究大会 in 岐阜**
2017/6/25 原令子(岐阜県)



**全国銘菓お茶っこ広場に
参加しよう!**

【今後の日程】
●宮城県雄勝：10/8(日) 最終回
※10/6~8ボランティア企画あり。詳しくは下記HPへ
●岩手県大槌：10/15(日)、11/19(日)、12/17(日)

被災地復興支援情報を下記に掲載しています。
[トップ]→[わたしたちについて]→
[わたしたちの取り組み]

◆東日本大震災支援活動「全国銘菓お茶っこ広場」
◆熊本地震支援活動
「シアリングネイチャーカフェ こびる」
日程、お菓子・ボランティア募集情報等、ご確認ください。



**宮城県雄勝での
全国銘菓お茶っこ広場**
日本協会自然災害対策委員長 井上満

東日本大震災から、6年半が経ちました。仮設住宅で不便な生活を余儀なくされていた宮城県雄勝地区の皆さんも、やっと今年の12月にはほとんどの方が復興住宅に移れる目処が立ちました。被災直後から今まで、宮城県協会が主体となり、全国の皆さんに支えられてきた雄勝での「お茶っこ広場」も、その役目を10月8日を最後に閉じることになりました。現地までボランティアに来てくださった皆さん、ご当地銘菓や心温まるソッペーを送ってくださった皆さん、長い間のご支援、本当にありがとうございました。

岩手の『お茶っこ』、熊本の『こびる』の活動はこの後も続きます。今後もご支援いただけますよう、よろしくお祈りします。

**被災地
復興支援情報**
つなごろう
ニッポン!
2011 NATURE GAME



News

**日本シアリングネイチャー協会
理事会・総会報告**

本年5月に平成29年度第1回理事会と定時総会が開催され、以下の議案が承認されました。

- 平成28年度事業報告
- 平成28年度決算

正味財産増減計算書 (単位:円)	
科目	28年度
一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	2,323
受取入金	461,500
受取会費計	34,570,500
公益目的事業収益合計	69,269,777
受取補助金等計	4,322,000
受取負担金	
受取寄付金	2,045,821
雑収益計	55,231
経常収益計	110,727,152
(2) 経常費用	
公益目的事業費計	105,839,058
管理費計	8,881,119
経常費用計	114,720,177
当期経常増減額	△3,993,025
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	3,993,025
一般正味財産期首残高	62,020,929
一般正味財産期末残高	58,027,904
正味財産期末残高	58,027,904

●役員改選
【新任理事】中里裕子、福田和子、峯岸由美子、渡辺峰夫(事務担当理事)
【退任理事】穂山徹也、石崎一記、太田原康志、猿渡清正、辻田良雄
【再任理事】阿部利也、井上満(常務理事)、去田ゆかり、清水建司(総務担当理事)、瀬尾隆史、田中蒼人(常務理事)、西澤信雄(代表理事)、服部道夫、日置光久、松田政行、三好直子(専務理事)

【監事・再任】浅見哲、永井礼正

●安全対策委員会設置

地域実践団体の設立・解散

●設立
うおぬまシアリングネイチャーの会(新潟県)

●解散
福島中通りシアリングネイチャーの会(福島県)、会津シアリングネイチャーの会(福島県)

専門委員会報告

■指導者養成委員会-5月15日(月)

- ◆インストラクター認定講座アクティビティ変更
- ◆リーダー養成講座の指導実習トライアル共有
- ◆トレーナー認定一次審査
- ◆2016年度指導者養成事業の報告 他

**第12回全国一斉
シアリングネイチャーの日**

今年のテーマは「自然にタッチ！」じぶんの手で足で…五感を使って…自然に触れてみませんか？ 詳細はHPトップの「News&トピックス」から。

*本誌P.11に関連情報があります。
★実施日：10月15日(日)

熊本地震活動支援金 活用報告

- 使途(2016年8月~2017年7月末)
- ・ 支援物資 22,344円(ショップ教材 熊本支援活動使用、ハンドブック支給他)
- ・ 支援活動冊子等制作費 188,481円(被災地復興支援瓦版、ハートプロジェクト他)
- ・ 活動交付金 200,000円(熊本県協会)
- ・ 事務費101,885円(視察費/支援冊子送料等)
- 残金は516,263円です。

【お詫びと訂正】
情報誌「シアリングネイチャーライフ Vol.17」に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
P4 イラスト右上ハエのキャプション2行目誤)「すぐに卵を産んで親子(ウジ)」
正)「すぐに卵やウジを産んで親子で」

**Nature Game “申請中”
わたしの星座さがし**

自分だけの星座を見つけ、仲間とシェアすることで星空への親しみを高めます。

テレビや雑誌などで衛星から撮られた写真を見て「地球」や「宇宙」を感じる機会はいくつかあります。でも、たまには天体の動きを読んでカヌーを進めたホクレア号のクルーさながら、リアルな星空をじっくり眺めてみてはいかがでしょうか。

編集部では、自分だけの星座をつくり、名前をつけて仲間とシェアするネイチャーゲームを考案中。既存の星座を見つける以上に楽しい星空観察になると思います。



**直せばいい
進路が間違っていたら**

ある日、ナイノア氏の友人である宇宙飛行士がいます。

「地球は海洋に浮かぶハワイと同じ、宇宙から見る地球は、地上では想像もできないほど美しいんだよ。でも、その地球が、破滅に向かっているかもしれないんだ」

「船が間違った方向に進んでいるとわかったら、方向を変える必要があるでしょう。それが地球という名の船だ。たらどうするか。：(中略)：私たちがいつのころからか、物質的な豊かさを第一の目標として船を進めてきてしまいました。方向を変えるには、元に戻るにはどうしたらいいのか？」

さらに、幼い頃に海の魅力を教えてくれたヨシという日系人が魂に刻んでくれたものを、「人生という航海の中で、何を信じ、何を選び、どう舵を取っていくか」と語りかけます。

内野さんは、ホクレア号の日本航海10周年の今年、1冊の絵本『星と海と旅するカヌー』を出しました。そのなかに、こんなことを書いています。

「自然はいろんなひみつをもっている。海のみみつや、星のみみつ、宇宙のみみつ、自然のみみつを知ったら、世界はどこまでも広がっていくよ」

そして…

「何日も何日も見ていなかった、緑。土があって、水があって、緑がある。海の上にぽっかり浮かぶ、いのちの島。海の旅が教えてくれたよ。土も水も緑もいのちも、みんなあたりまえなんじゃない」と。

現在、高知県土佐山をベースに、全国の子どもたちに海を入り口として、自然のしくみや人と自然の関わりについて学ぶ場づくりを行っている内野さん。

「宇宙、空…。大きなものとのつながりのなかで生きていく感覚を持ちながら、身近にいる人、顔が見える人との活動を大切にしていきたい」といいます。内野さんもまた、ホクレア号を降りた今も『地球』というカヌーのクルーとして、未来への舵を握っているように思います。



絵本『星と海と旅するカヌー』(きみどり工房)より引用

私たちは、
未来の子どもたちに
何を残すのか。

プレゼント

**内野加奈子・文 山崎由起子・絵
絵本『星と海と旅するカヌー』**

ハワイを最初に見つけた人たちは、こんな風にして海を渡り、世界を広げて行ったのかも…。星空の読み方も紹介されています。1,500円(きみどり工房発行)読者プレゼント! 詳しくはP.10をご覧ください。

REPORT

「発見」という言葉、じつは英語の discover の翻訳。いまや「何かをみつけた」というイメージが強いが、本来はカバーを“はがす”という意味。

世界的権威を持つ「ノーベル賞」の受賞者に送られるメダルの裏面に、この「発見」の本質が描かれているそうだ。その絵は、「科学の女神」が「自然の女神」のペールを外そうとしている。つまり、科学とは自然のペールを外すこと…らしい。それが「発見」。みつけた!より少し奥が深い。

西洋の文化の基盤をなすキリスト教では、自然 nature は「天地創造の神」がつくったものであり、人間が食べ、生活していくすべての事物・現象は神がつくり与えてくれたものと考えられる。ただし、西洋人は私たちがいつも見ている「自然」は表面的なもので、神の思惑はもっと深いところにあると考えた。そこには確固とした法則があると。それを解き明かすのが「科学」なのだ。

ちなみにメダルの「自然の女神」の元になったと伝わるエジプトの女神「イシス」の神殿には「我が面布をかかぐるものは、語るべからざるものを見るべし」と刻まれているとか。「素顔を見たら簡単に言葉にできない真実を見ることになるよ」とは、日置先生訳。受賞者は、この神の領域に踏み込みペールを1枚めくった人なのだ。すごっ!



『ノーベル賞』のメダル(裏) 描かれているのは「自然」と「科学」の女神。「科学」の本質がここに描かれている!

天地創造の神があらゆるものを生み出した…「自然の女神」が抱える「豊穡のコーン」はその象徴。

「自然の女神」のモデルになったのはエジプト神話の女神「イシス」。太陽神・ラーの娘とされる神話もある。

人間は、「科学」の力によって「自然」のペールを少しだけはがし、その素顔を観ることができる。それが「発見」!

『ノーベル賞』のメダル(表) ダイナマイトの発明者、アルフレッド・ノーベルの遺言で始まった『ノーベル賞』。表にはノーベルの肖像が描かれている。



肖像とともにノーベルの生没年(1833~1896年)がローマ数字で書かれている。この法則を解ける?

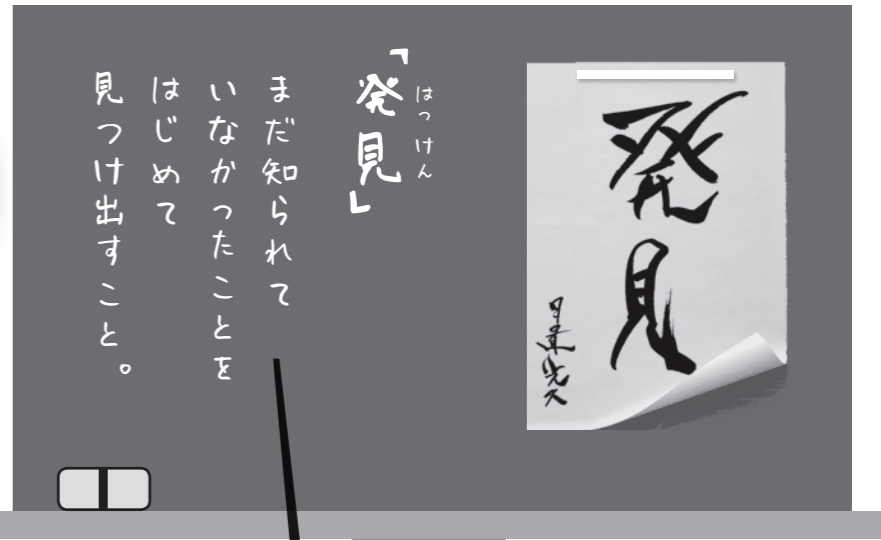


NATURA 自然の神

SCIENTIA 科学の神

「科学の女神」がまさに今、自然のペールをはがそうとしている。科学とは、こうして自然の真理を追究するもの。

手に携える「巻物」は人の能力の象徴。そこに書かれた「文字」こそが人が生み出したもの。



「発見」はまだ知られていなかったことをはじめて見つけ出すこと。

西洋の自然観

日置光久 (ひおき みつひさ)・監修
東京大学特任教授。元・文部科学省視学官。日本シエアリングネイチャー協会理事。



「天地創造の神が人に与えた「自然」には人間が理解していない多くの法則(神の考え)がある…。それを解き明かし「発見」するのが科学。」

ネイチャーゲームで体験しよう!

自然の神秘を楽しく発見!

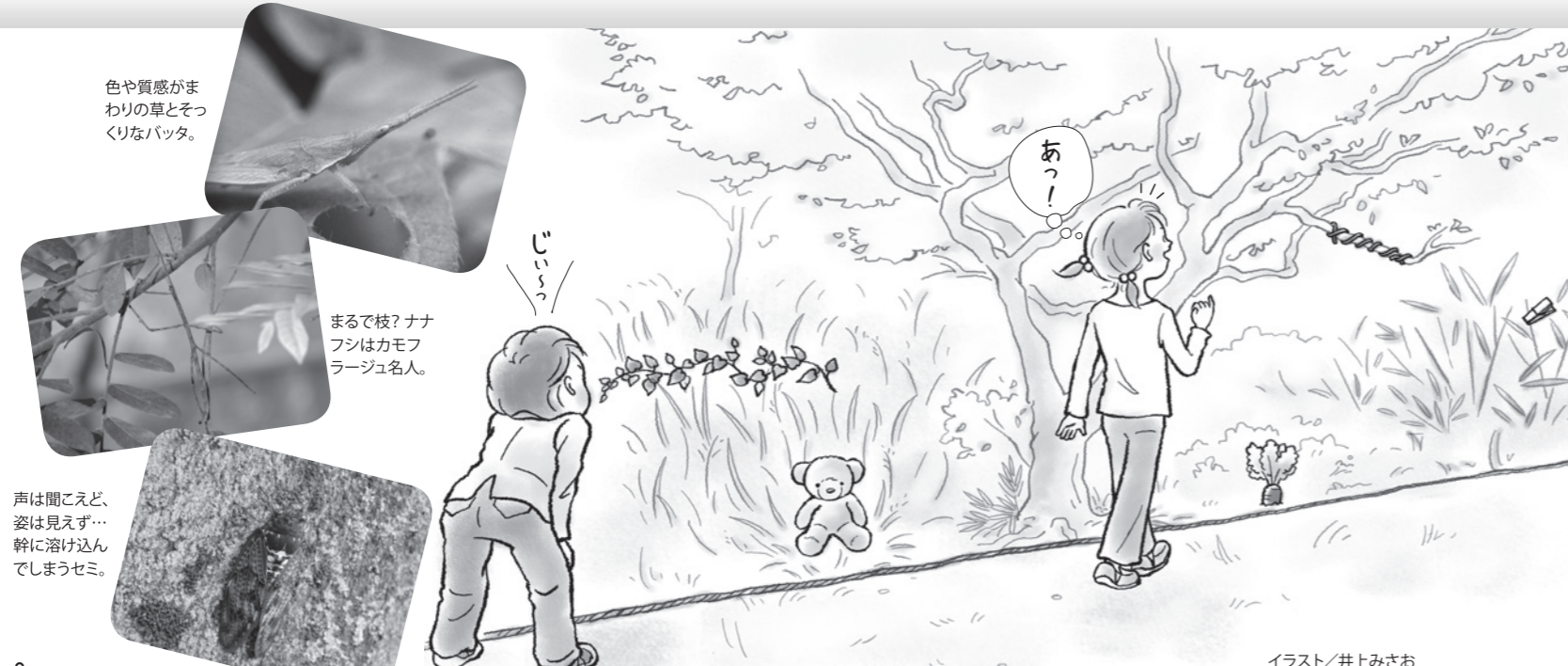
カモフラージュ

Nature Game No.009

擬態や保護色など、昆虫や生きものたちの「カモフラージュ」を学ぶ人気のネイチャーゲームです。なぜこんな形をしているのだろう、どうしてこんな色をしているのだろう…その驚きや発見が、自然科学への興味を高めます。

- 【準備するもの】
 - ・ぬいぐるみや洗濯バサミなど、身の回りにある人工物(5~15個程度)
 - ・細いロープ(10~20m)
- 【楽しみ方】
 - ① 地面にロープを置き、コースをつくる。ロープの向こう側に人工物を置く。このとき、人工物が葉や石などの下に完全に隠れないようにする。
 - ② 参加者をスタート地点に集めて、説明をする。
 - ・ロープの向こう側に人工物が置かれている。
 - ・一人ずつコースを歩きながら、静かに人工物の数を数える。
 - ・人工物に触ったり、ロープの向こう側には入らない。
 - ・「ゴール」にいるリーダーに人工物の数を伝える。
 - ③ 活動をはじめ、リーダーはゴール地点で参加者の回答を聞く。
 - ④ 全員が2回ずつ行ったあと、置いてあった人工物を集め、「見つけやすかったもの」「見つけにくかったもの」について話し合う。リーダーは、自然界の擬態や保護色について説明する。

*擬態や保護色について書かれた絵本なども市販されているので、上手に利用すると効果的です。



イラスト/井上みさお

色や質感がまわりの草とそっくりなバツタ。

まるで枝? ナナフシはカモフラージュ名人。

声は聞こえず、姿は見えず…幹に溶け込んでしまうセミ。

ジョセフ・コーネルの 課外授業

「シェアリングネイチャーライフ」をひも解くコーナーです。ネイチャーゲームの創始者 J・コーネルの講演録から未来に伝えていきたい言葉をピックアップしてご紹介します。



有能な指導者になる秘訣

アルバート・シュバイツァーが言った言葉です。

「有能な指導者になるためには三つの要素が必要である。一つ目は指導者がいい手本になること。二つ目はいい手本になること。三つ目はいい手本になること」

指導者が、気持ちのならないまま、ネイチャーゲームをしたとします。すると、その感情はまるで鏡に映したかのように子どもたちに移り、楽しくないプログラムになるでしょう。参加者に感動を呼び起こす指導者になりたければ、まず指導者自身が感動していなければなりません。昔得た感動や思い出に頼っているのではなく、参加者に接するとき、その場で、感動していることが大切なのです。

1990年代に、リパティ・ハイド・ベイリという伝説的なナチュラルリストがいました。彼は「人生に対する意識を持つこと、これが教育の“最高の成果”である」と言いました。

子どもたちが感性を育むのに一番適した時期は6～12歳と言われています。この時期に、自然に対する深い理解や、周囲への思いやりを持てるようになれば、大人になっても、自分を含めたすべてのものに対して思いやりのある人になるでしょう。未来の子どもたちのために必要なのは、有能な指導者の存在だと私は思います。ネイチャーゲームの活動はとても大切なもので、指導者のみなさんは世界にとって大切な貢献をしているのです。

Joseph Cornell
1950年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て1979年「Sharing Nature with Children」発表。以後、世界的なナチュラルリストとして活躍。当協会名誉会長。

開催日 2017/10/15 日曜日

地球にさわる日!!

時間 いつでも
場所 どこでも

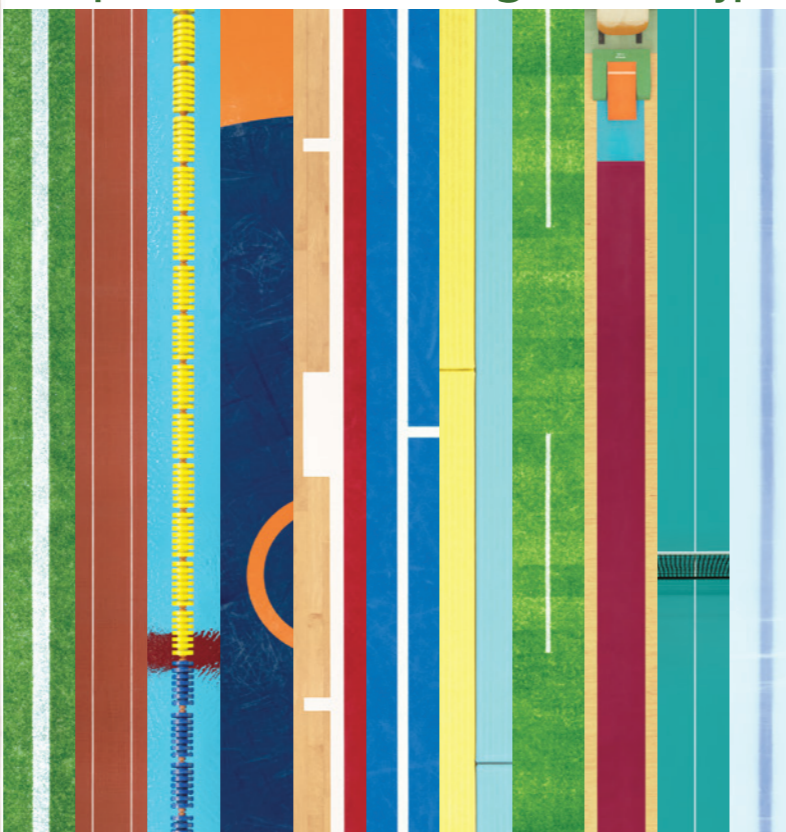
1 好きな自然にでかける
2 木や地面、石など… 触ってみたいものを見つける
3 手や足の裏、頬など 自分の素肌で触る

楽しみ方

シェアしよう 触ったものや感じたことを投稿して、体験をシェアしよう!

全国一斉シェアリングネイチャーの日
#自然にタッチ #全国一斉シェアリングネイチャーの日

http://www.naturegame.or.jp/



スポーツくら

スポーツくら(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com

じつは、ネイチャーゲーム(Sharing Nature)は世界各地で普及されています。その数はすでに約20カ国。なかでも、いちばん最近(2016年5月)活動を開始したのが、「Sharing Nature in CHINA」だ。

代表を務める林紅さんは、会計事務所や建築会社を経営してきたキャリアウーマン。ところが40歳になる直前の経験を機に、自然学校の事業に没頭しはじめ

「15日間、たった一人山を歩いていたら、雪景色に心が震え、深い自然と心が交わったと思えた」と。そこでムクムクと芽を出したのが、「自然体験の仕事がしたい」という子どもとのきの夢のタネ。考えれば、母親の影響で幼いころから自然に親しんで暮らし、「花や木と親しくなれば人はリラックスできる」と知っていた」といいます。

「コーネル氏の『ほがらかにゆつくりと歩こう』という言葉が好きです。中国人は、大人も子どもも静かにできない人が多く、すぐにイライラして、ゆつくり過ごすことが苦手なんです。でも、フローラーニングの手法をつかえば、中国人も心をゆつたりさせられるんじゃないかと」

林さんが設立した『楽享自然スタジオ』は社員13名、ボランティアが50名在籍する企業。都市部に住む家族向けのプログラ



「日本が構築した組織や、テクニックの普及方法はとても良いと思います」という林さん。



Sharing Nature World Wide 中国が誕生!



Sharing Nature in CHINA 楽享自然スタジオ代表 林 紅さん

中国人の忙しい心を シェアリングネイチャー で穏やかにしたい

△なども提供しています。

活動で驚いたのは、リーダー養成期間が4年。日本とはだいぶ異なる養成プロセスです。逆に「日本は2〜3日間」と知った林さんもビックリ。今後は情報交換をしながら、隣国の活動を応援していきたいと思えます。

双方、超びっくりの*

イラスト/初澤久美 取材/佐々木香織

読者プレゼント!

Present

アンケートに答えて
シェアリングネイチャーグッズを
ゲットしよう!

応募締め切り: 2017年10月15日

アンケートは…

- ◆HPトップページから <http://www.naturegame.or.jp/>
- ◆メール・FAXでも sasaki@naturegame.or.jp FAX 03-5363-6013

メール・FAXの場合は下記をご記入ください【アンケート項目】

- お名前
- ご住所(会員番号)
- 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない)
- 良かったコーナー
- プレゼント希望(1/2/3)
- ご意見・ご要望

秋の自然を
五感で楽しみ
本物の
アイテム!

秋の自然を
五感で楽しみ
本物の
アイテム!

約14gの
軽量財布!

かわいらしい
かわいい月々に気分もすっきり
ポケットにすっきりはまる
コンパクトサイズ!

① 内野加奈子・文 山崎由起子・絵
絵本『星と海と旅するカヌー』 3名様

子どもたちが木をくり抜いてカヌーをつくり、長老から自然を読み解く航海術を教わり大海原にくり出す物語。1,500円(きみどり工房発行)

② 秋を楽しむネイチャーゲーム・
お出かけセット 2名様

てざわりピンゴ・森の色あわせ・落ち葉の窓・虫メガネ・落ち葉が映える黒パンダナがセットに! 遊び方解説付き(企画・提供:編集部)

③ Lite Wallet 1名様

P.12『なんにもしないアウトドア』の四角友里さんより、「Marmot」とコラボ開発したお財布をプレゼント! カード、お札、小銭を別々に入れられ、コンパクトになるので持ち運びやすい!

ニュージーランドのホリフォードトラックにて。海からスタートし、山に入り、川を辿って歩いた。山と川と海のつながりも、親子であり親戚同士のよう。

私の存在を
自然を通して
語ってみよう

マオリの人びとは、裏が白く発色するギンシダの葉を道しるべとして置いて歩く。



写真：小澤義人

なんにもしない
アウトドア

Nature Game No.048



これまで出逢った生きものや場所など自然体験を交えて自己紹介しあうネイチャーゲームの「はじめまして」。小さなころの思い出や、庭の花……そのひとだけのエピソードがあつて初対面の人の印象が、色鮮やかに。

もうひとつ、印象に残っている自己紹介のしかたはニュージーランドの先住民族であるマオリの友人に教えてもらったもの。

「私の山は〜、私の川は〜、私の海は〜」と紹介し、そのあとに部族や姓・名を続ける。

この山や川は、故郷や居住地に必ずしも縛られなくてよく自由に変更していいのだそうだ。

自然との接点が少なかった昔の私だったらこの自己紹介がうまくできなかつたらどうでもいままなら、生き生きと自分のことを表現できる。マオリのひとびとが

名前と同じくらい大切にしている自分の体と心を育んでくれた

自然のことを交えながら。

私は、名前という「生」を授けてくれた父母の娘であることと同時に

「母なる大地」の一部だということも

この自己紹介で伝えられるのだ。

Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウエア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔もつ。現在、Webマガジン「Share the Mountain」などで連載中。著書に「デイリーアウトドア」他がある。

My Book



『一歩ずつの山歩き入門』¥1,200+税
女性の山歩きデビューから2泊3日の山小屋トレッキングまで、四角友里流のノウハウを全公開。



設置店募集!

ご連絡ください!

シェアリングネイチャーライフ Vol.18
通巻 99号
発行日 2017年9月15日
発行人 西澤信雄
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-13-17ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013
http://www.naturegame.or.jp/
jimukyoku@naturegame.or.jp

編集：佐々木香織、水信亜衣、伊東久枝
デザイン・DTP：花平和子
表紙イラスト：矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

スポーツクリ
BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています